

## 3市(日野市・国分寺市・小金井市)の可燃ごみを共同処理する 新可燃ごみ処理施設がいよいよ本格稼働します

3市の可燃ごみを共同処理する新可燃ごみ処理施設が、4月1日からいよいよ本格稼働します。本格稼働に向けて、市民の皆さんに共同処理に対して十分にご理解をいただき、さらなるごみの減量と資源化に取り組んでいただくため、3市ごみ減量推進市民会議からの提案を受けて、3市が連携して共同処理に関する「特集記事」を同時に掲載しています。

	内容		
広域化の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の低減</li> <li>・エネルギーの有効活用</li> <li>・コストの削減</li> </ul>	<p>安定した燃焼管理、高度な排ガス処理設備の導入が可能となり、ダイオキシン類の削減、有害物質の低減を図ることができます。</p> <p>適正な施設規模による高効率なごみ発電が可能となり、エネルギーの有効利用や地球温暖化防止に貢献できます。</p> <p>施設を集約することで、単独方式で建設するより建設費、維持管理費が削減され、大幅なコスト削減を図ることができます。</p>	 <p>新施設全景 (令和2年2月撮影)</p>
施設概要	<p><b>【建物概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造</li> <li>・階数：地上6階、地下2階</li> </ul> <p><b>【設備概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理能力：228 t / 日 (114 t / 日 × 2 炉)</li> <li>・処理方式：全連続燃焼式 (ストーカ炉)</li> <li>・発電設備：蒸気タービン発電機 5,190 kW</li> </ul>		
環境対策 交通対策	<p><b>【環境対策】</b></p> <p>新可燃ごみ処理施設では、国が定める環境基準よりも厳しい基準を設け、安全な運転に努めています。</p> <p>また、環境対策や情報発信方法等の施設運営時における基本事項を地元自治会の代表者等と検討を行い、環境保全基準を策定し、公害防止に努めています。さらに、災害対策や非常事態における対応についても定めています。</p> <p><b>【交通対策】</b></p> <p>収集車両は、環境負荷低減のため、排気ガス規制に適合したクリーンディーゼル等の低公害車を使用しています。</p> <p>また、公園(地区広場)を通行する車両は、すべて制限速度の遵守および事故防止の徹底に努めるとともに、交通事故防止のための誘導員を配置しています。</p>		
見学の受け入れ	<p>新可燃ごみ処理施設は、安定した稼働を確認し、5月中旬ごろから施設見学ができるように準備を進めています。施設見学では、ごみの受け入れ体制からごみ処理の状況まで、見学者コースを自由に見学することができます。詳細が決まり次第、市報・市ホームページ等でお知らせします。</p>		
稼働後の可燃ごみ分別ルールと減量の推進	<p>小金井市では、新可燃ごみ処理施設の本格稼働後も、現在の分別区分を継続して、ごみの減量と資源化の推進に引き続き取り組みます。市民の皆さんには、これまでもごみの分別についてお願いしているところですが、生ごみは水切り袋でひと絞りしていただくなど、燃やすごみのさらなる減量にご理解・ご協力をお願いします。</p> <p>また、燃やすごみの中には、燃やすごみ以外のごみ、特に引火性、有害性のあるスプレー缶や電池類等を絶対に混入させないように分別の徹底をお願いします。</p>		
市長メッセージ	<p>新可燃ごみ処理施設は、昨年12月19日より試運転を開始し、いよいよ4月より本格稼働となります。平成26年1月の3市による覚書の締結から約6年間が経過いたしました。無事に新施設の本格稼働となりますのも、ひとえに、地元をはじめとした市民の皆様のご理解・ご協力があったこととあり、改めてお礼申し上げます。日野市は令和元年度のSDGs未来都市に東京都の自治体としては初めて選定されました。持続可能かつ将来的な「ごみゼロ社会」をめざして、3市で徹底的なごみ減量を進め、循環型社会を形成できる仕組みづくりを進めてまいります。引き続き、市民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">日野市長 大坪 冬彦</p>	<p>日野市民の方々のご理解とご協力をいただき、小金井市とともに日野市に建設された新可燃ごみ処理施設へもやせるごみの搬入をさせていただくこととなります。今日に至るまで、日野市民の皆様と日野市ご当局には大変ご苦労をおかけしたことに深く感謝申し上げます。</p> <p>そのうえで、本市としては、今後、新施設周辺の環境負荷軽減のため、新施設への搬入量を減らしていく努力をまいります。</p> <p>については、国分寺市民の方々には、さらなるごみの減量にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">国分寺市長 井澤 邦夫</p>	<p>3市で設立した浅川清流環境組合において建設を進めてまいりました新可燃ごみ処理施設は、4月1日からの本格稼働まであとわずかという段階までできております。改めまして、施設周辺にお住まいの皆様をはじめとする日野市民の皆様および関係者の皆様に深く感謝申し上げます。今後、小金井市の可燃ごみは、日野市内において処理されることとなります。小金井市民の皆さんにおかれましては、新施設周辺にお住まいの皆様および関係者の皆様のご負担を軽減するため、さらなるごみの減量、資源化の推進に取り組んでいただくようご理解・ご協力をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">小金井市長 西岡 真一郎</p>
3市ごみ減量推進市民会議	<p>3市ごみ減量推進市民会議は、平成30年4月20日付「3市ごみ減量推進市民会議設置に関する協定書」に基づき、平成30年7月24日に設置されました。市民会議の中で、3市の市民がごみ減量施策や情報発信等についての検討や意見交換等を実施しています。</p>		
市民会議メッセージ	<p style="text-align: center;"><b>「3市連携しさらなる可燃ごみの減量を！」</b></p> <p>3市の可燃ごみを共同処理する新可燃ごみ処理施設がいよいよ4月から本格稼働します。ごみ処理の広域化は、コストの削減などのメリットがある反面、新施設周辺の皆様には、焼却量の増加、運搬車両の増加等の影響もあり、ご負担をおかけすることになります。</p> <p>私たち3市ごみ減量推進市民会議は、3市の市民を代表し、新施設建設にご理解いただいた新施設周辺の皆様に深く感謝申し上げます。3市の市民・事業者・行政が連携してごみの減量を推進することは、環境に優しい持続可能な社会をめざすうえでも大きな力になります。「3市の皆様、新施設周辺の皆様のご負担を少しでも軽減するため、さらなる可燃ごみの減量に努めてまいりましょう。」</p> <p>市民会議は、2050年度までに3市の焼却ごみをゼロに近づけることを目標とし、今後、市民目線でごみ減量施策および新施設稼働状況等の3市の皆様への情報提供について、行政にさまざまな提案を行ってまいります。</p>		